

第13回

越谷市教育委員会会議録

平成25年12月19日

定例会

平成25年第13回越谷市教育委員会会議録

招集年月日 平成25年12月19日
 招集の場所 教育委員会室
 開閉会日時 開会12月19日 午後 2時00分
 閉会12月19日 午後 3時10分

出席委員

委 員 長	住 田 俊	委 員 長 職務代理者	櫻 田 玲 子
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員 (教育長)	吉 田 茂		
欠席委員	な し		

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横 川 清	学校教育部長	会 田 研 司
教育総務部 参事兼 教育総務課長	鈴 木 宏 孝	学校教育部 副参事兼 学務課長	野 口 久 男
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	斉 藤 美 子	学校管理課長	中 山 佳 孝
教育総務部 副参事兼 図書館長	小 林 彰 博	指導課長	五十畑 勝 己
スポーツ振興 課長	植 田 春 夫	給食課長	川 村 明
生涯学習課 主 幹	山 梨 一 弘	指導課主幹兼 教育センター 所 長	大 西 久 雄
科学技術体験 センター所長	小 林 中 子	給食課主幹兼 第一学校給食 センター所長	坂 巻 眞 人
		指導課主幹	中 台 正 弘

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 主 幹	渋谷 博 之
----------------	--------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	協議事項	
	・平成26年度越谷市教育費当初予算について	
	その他	
	・平成25年12月定例市議会について	
	・平成25年度事務事業評価等実施結果について	
	・平成25年度越谷市成人式について	

◎開会の宣告

住田委員長 時間ですので、これより12月の定例教育委員会会議を開催いたします。

なお、議事に入ります前に、さきに開催されました12月定例市議会において、堀川委員が教育委員としての任命についての同意をいただき、先ほど市長から、あらかじめ平成25年12月24日付の任命辞令の交付を受けたところでございますので、堀川委員より再任のご挨拶をいただきたいと思います。

堀川委員 こんにちは。

先ほど市長さんより辞令をいただいてまいりました。改めて身の引き締まる思いでございます。微力ではありますが、皆様のご指導をいただきながら最善を尽くしてまいりますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

住田委員長 よろしく願いいたします。ありがとうございました。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

(午後 2時00分)

◎平成26年度越谷市教育費当初予算について

住田委員長 それでは、協議事項に入ります。

平成26年度越谷市教育費当初予算について、教育長のご説明を求めます。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、平成26年度当初予算の要求概要につきましてご説明を申し上げます。

平成26年度は、越谷市教育振興基本計画の4年目を迎えますが、引き続き学校教育、生涯学習及び生涯スポーツのこの3つの基本目標を柱に、教育施策を総合的かつ計画的に推進していくことができるよう、当初予算を要求してまいります。

主な取り組みを申し上げますと、まず学校教育におきましては、子どもたちが安全で安心して学べる学校環境を整備するため、引き続き学校施設設備の点検や計画的な改修、アスベストの除去工事などに取り組んでまいります。

また、いじめ・不登校など、子どもたちを取り巻く課題に対応するため、きめ細やかな生徒指導体制や教育相談体制の充実に努めるなど、子どもたち一人ひとりが、明るく楽しい学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。

次に、生涯学習におきましては、市民一人ひとりが主体的に学習できるよう、ライフステージ・ライフスタイルに対応した多様な学習機会の提供や豊かな学習環境づくりの充実に図り、その学

習の成果を地域やまちづくりに生かすことができる循環型生涯学習を推進をしてまいります。

また、市民との協働により、芸術文化活動の推進を図るとともに、地域の特性を生かした特色ある地域文化の振興と普及に努めます。

さらに、地域に所在する文化財などを、貴重な文化遺産として後世へ継承するため、適切に保護し、活用を図ってまいります。

次に、生涯スポーツにおきましては、全ての市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、生き生きと生活を送ることができる環境づくりを目指し、生涯スポーツの振興を図るとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場である屋外・屋内体育施設を適切に管理運営してまいります。

以上、非常に厳しい財政状況が続く中、教育の普遍的な目的と、本市教育行政に求められていることをしっかりと見きわめながら、「生涯学習社会の実現をめざして」という本市教育の基本理念のもと、創意ある予算編成としてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

それでは、恐れ入りますが、お手元の別冊 1、平成26年度当初予算要求書の表紙を 2 枚めくっていただき、目次をご覧をいただきたいと思います。

まず、私からは、2 ページから 7 ページまでの予算総括表の概略をこれからご説明し、具体的な要求内容等につきましては、後ほどそれぞれの担当課所長からご説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

なお、当初予算要求に当たり、総務費及び衛生費に関連予算を要求しておりますので、あわせてご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明いたします。3 ページ下段の教育費に係る歳入合計欄をご覧をいただきたいと思います。本年度要求額は17億7,250万3,000円でございます。前年度予算額と比較いたしまして1億6,099万5,000円の増額となります。増額の要因といたしましては、幼稚園就園奨励費に係る国庫補助金の増額及び給食センター整備事業に係る市債の増額が主なものでございます。

次に、歳出についてでございますが、4 ページ上段の総務費に係る歳出合計欄をご覧をいただきたいと思います。教育委員会に関連する総務費につきましては、21万円を要求いたします。こちらは、子ども110番の家事業における地域協力者等にかかるボランティア等損害保険料でございます。

次の教育委員会に関連する衛生費につきましては、51万8,000円を要求いたします。こちらは、今年度に引き続き実施いたします、給食食材の放射性物質の測定に係る経費でございます。

次に、5 ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧をいただきたいと思います。教育費に係る要求額は82億6,558万8,000円でございます。

なお、全項目にわたりまして事務局職員の人件費は、超過勤務手当及び休日給を除き、この中には含まれておりません。これは、後ほど、市長部局の総務部人事課におきまして一括計上し、追って内示されるものでございますので、ご了承賜りたいと存じます。

次に、6ページ及び7ページにございます歳出節別一覧表につきましては、こちらの表をご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

以上のとおり、平成26年度当初予算を要求してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、具体的な要求内容等につきまして、順次担当課所長からご説明をさせていただきます。

吉田教育長 教育総務課長。

鈴木教育総務課長 恐れ入りますが、教育総務課につきましては、別冊の2、平成26年度予算編成の概要に基づき説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

1ページをお開きいただきたいと思います。中段の重点施策の（1）主要施策及び目的について6項目ご説明をさせていただきます。

1項目め、教育委員による教育活動等の積極的な把握ということで、教育委員による学校訪問や教育委員と教育委員会事務局職員との懇談などを実施して、教育活動の積極的な把握をしていただくことを予定しております。

2項目め、教育振興基本計画の進行管理ということで、PDCAサイクルに基づき、教育振興基本計画をしっかりと管理するために、今年度に引き続き、点検評価の充実に努めてまいりたいと考えております。

3項目め、学識経験者による知見の活用ということで、平成24年度及び平成25年度に引き続きまして、教育委員会の事務に関する点検評価において、学識経験者の方に教育外部評価をお願いしてまいりたいと考えております。

4項目め、入学準備金貸付制度の適切な運用として、教育基本法に規定されております、等しく教育を受ける機会の確保ということで、制度の適切な運用を図るとともに、未収金の回収につきましても積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

5項目め、幼児教育への支援ということで、引き続き幼稚園就園奨励費補助金の交付により、保護者の経済的な負担の軽減、さらに幼稚園設置者の施設整備等の一部助成、また幼稚園の職員の研修に対する補助も引き続き行ってまいりたいと考えております。なお、幼稚園就園奨励費補助金につきましては、国の予算要求段階でございますが、国庫補助基準に関して制度の変更が予定されているところでございます。それを踏まえて予算要求をさせていただいております。

最後に、6項目めですが、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする（仮称）第2期越谷市教育振興基本計画の策定に向けて、計画策定方針にかかる検討や基礎資料の収集等の準備を

行ってまいります。

なお、教育総務課につきましては、予算を伴う新規・拡充事業はございません。

説明については以上でございます。

吉田教育長 生涯学習課長。

斉藤生涯学習課長 続きまして、別冊2、予算編成概要の2ページをご覧いただきたいと存じます。

生涯学習課につきましては、越谷市教育振興基本計画に基づきまして、市民の多様な学習ニーズに対応した生涯を通じた学習活動の推進、芸術文化活動の推進と地域文化の継承と普及、文化財の保存、活用、普及など生涯学習社会の実現を目指すための予算計上をさせていただいております。

重点的な取り組みといたしましては、まず生涯学習の推進に伴う事業につきましては、ライフステージ、ライフスタイルに応じました学習機会の充実を図るための各種学級、講座を開催するものでございます。

また、社会教育における人権を尊重する教育の推進につきましては、人権、同和教育の普及啓発のための講演会等を開催するものでございます。

芸術文化活動の推進につきましては、自主的に文化活動に参加できる環境を整えるため、越谷市美術展覧会、越谷市民文化祭の開催、「文化総合誌一川のあるまち」の発行をするものでございます。

地域文化の継承と普及につきましては、伝統芸能の普及のため、越谷薪能、能楽体験教室等の開催をするものでございます。

文化財の保護、普及につきましては、現在レイクタウン地内に復元を進めております、越谷市指定文化財、(仮称)旧東方村中村家住宅が平成26年10月に開館する予定でございますことから、その準備と施設管理に伴うものを積極的に推進してまいりたいと考えております。

なお、拡充事業でございますが、別冊3の2ページをご覧いただきたいと存じます。まず、1番目でございますが、南部図書室の管理事業といたしまして、現在の南部図書室をサンシティ商業棟6階へ、平成26年9月予定でございますが、移転する予定でございますので、それに伴う改修工事及び図書室の借り上げを行うものでございます。

なお、3番目でございます文化財施設管理事業でございますが、大間野町旧中村家住宅の管理運営並びに平成26年3月に復元されます、先ほど申し上げました旧東方村中村家住宅の開館に向けた準備、施設管理等に伴うものでございます。

以上でございます。

吉田教育長 科学技術体験センター所長。

小林科学技術体験センター所長 続きまして、科学技術体験センターの平成26年度の予算についてご説明させていただきます。別冊の2、予算編成の概要3ページをご覧いただきたいと思います。

科学技術体験センターにおきましては、子どもから高齢者までのライフステージに応じた理科や科学技術についての多様な体験の充実を図り、生涯学習の推進、そして科学技術への興味・関心を持ち続けるすぐれた人材の育成を目指すため、予算の計上をさせていただいております。

主要施策について4項目ございます。1項目め、見て、聞いて、感じる科学の楽しさが伝わるよう、創意工夫をした実験や工作体験、当センターの特色あるサイエンスショーを展開することで、科学への興味を沸き立たせることができるような事業に取り組んでまいりたいと考えております。

2項目め、体験者と同じ目線に立って、わかりやすく科学技術を伝えることができるよう、市内高等学校と連携をし、科学探検教室をはじめロボット教室の開催をしてまいりたいと考えております。

3項目め、ライフステージに応じた理科、科学講座といたしまして、平日、大人のための生物学講座や科学博物館ボランティアの方による自然科学講座を開催してまいりたいと考えております。

4項目め、年々学生によるボランティアの希望が増えていることから、積極的にボランティアの育成・支援に努めてまいりたいと考えております。

その他、開館13年を迎えることから、利用者が安全で快適に利用できるよう、施設の見直しを行い、自動ドアや空調機などの修繕を要求してまいります。

なお、科学技術体験センターにつきましては、予算を伴う新規・拡充事業はございませんので、別冊3には記載をさせていただいておりません。

説明については以上でございます。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

植田スポーツ振興課長 それでは、スポーツ振興課の平成26年度の予算についてご説明いたします。別冊2の予算編成の概要の4ページをお開きください。

スポーツ振興課につきましては、越谷市総合振興計画、越谷市教育振興基本計画に基づきまして、いつでも、どこでも、だれでもがスポーツ・レクリエーションに親しむことができる生涯スポーツの実現を目指しているところでございます。

平成26年度の重点施策につきましても、市民の皆様があらゆる機会を通じてスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、スポーツ教室、講座、大会等を開催するほか、施設を快適に利用できるよう、施設の整備、管理運営の充実を図ってまいります。

重点施策におきまして具体的には、特に②番目になりますが、生涯スポーツ活動の推進及び体力づくり事業の推進におきまして、老人福祉施設におきます出前講座の開催、障がい者スポーツ教室、勤労者スポーツ教室を実施してまいります。

その他、④スポーツボランティア制度の充実、⑤といたしまして、体育施設の整備、特に総合

体育館の施設設備の整備に努めてまいります。

なお、スポーツ振興課におきましては、予算を伴う新規・拡充事業はございません。

説明につきましては以上でございます。

吉田教育長 図書館長。

小林図書館長 続きまして、図書館になりますけれども、同じく別冊2の5ページをお開きいただきたいと思います。

こちらの重点施策の欄に概要を記載させていただいておりますが、若干振り返りますと、本市の図書館行政は、平成24年度において、6月に中央図書室がオープンし本館と3つの図書室による体制となり、あわせて、9月には北部と中央の図書室において「おはなし会」をスタートさせるとともに、11月には視聴覚資料であるCD・DVDの予約を開始するなど、サービスの充実に向けて着実な一步を踏み出したものと思っております。

また、平成25年度におきましては、いわゆる学校への団体貸出でございますが、教職員の方の多忙化の事情を考慮し、移動図書館ですべての学童保育室を巡回しておりますので、そこに団体貸出のための図書の配送サービスをスタートさせたところでございます。

こうした中、平成26年度においては、これらの取り組みをさらに推進するとともに、利用者の利便性のより一層の向上や、図書館機能の充実と強化を図り、市民の生涯学習に役立つ図書館を目指してまいります。

主なものですが、先ほども南部図書室の件で借上料の説明がありましたが、1点目としては、南部図書室の移設によりまして、図書室そのものの機能強化を図るものです。具体的には、レイクタウン地区の人口増等を踏まえて機能強化を図ろうというものでございまして、新しく視聴覚資料を整備するとともに、閲覧席の拡充、子育て支援機能の強化、さらには飲食が可能な「くつろぎ空間」の確保などにも取り組んでまいりたいと思います。

2点目としては、機能強化の前提として図書館システムの活用があるわけですが、南部図書室の機能強化にあわせて、中央図書室で運用している自動貸出機等は標準装備といたしまして、さらに予約資料の受け渡しの自動化に関するシステム等を導入して、利便性のさらなる向上を図ってまいりたいと考えております。

子ども読書活動については、記述してあるとおりでございますので、省略させていただきます。

次に、3点目の野口富士男文庫の運営でございますが、こちらについては、平成23年度に生誕100年を記念して「越ヶ谷日記」という冊子を発行いたしましたけれども、平成26年度は文庫開設20周年に当たりますので、越谷を舞台に描いた野口作品を中心とする「(仮称) 越谷小説集」の発行に取り組んでまいりたいと思っております。

また、平成24年の6月に開設した中央図書室については、まだまだ蔵書の充実というものに年次的に取り組んでいく必要がございますので、引き続き対応してまいります。

拡充事業につきましては、別冊3の2ページに事業費を明示させていただいております、ただいまご説明申し上げました南部図書室の移設については、図書の購入費やシステムの整備費などで1億5,427万9,000円の要求はさせていただいておりますが、財政状況が厳しいことから、調整過程の中で、どの程度残るかという状況でございます。

また、野口富士男文庫開設20周年の記念誌発行については、234万9,000円を計上させていただいております。

なお、図書館につきましては、今年開館30周年ということですが、レンガづくりのかなり本格的な建築物でございますので、適正な維持管理をしながら、より長期にご利用いただけるよう、図書館施設改修事業として、外壁改修工事等を予定させていただいております。

以上でございます。

吉田教育長 学校管理課長。

中山学校管理課長 それでは、別冊2の6ページをお開きください。学校管理課が所管しております予算の概要についてご説明いたします。

重点施策の(1)主要施策及び目的をご覧ください。まず、①としまして、仮設教室借り上げでございます。今年度から児童が使用しております越ヶ谷小学校、そして現在設置に向け準備を進めております明正小学校を含めて、8校が仮設教室を使用、もしくは今後使用する予定でございますが、さらに西大袋土地地区画整理事業に伴います児童数増加による教室不足を解消するため、千間台小学校への設置について今後検討していきたいと考えております。

次に、②の学校施設非構造部材の耐震化でございます。今年度、小中学校の約半数の学校の屋内運動場等の点検を専門家により実施しておりますが、残りの学校の屋内運動場等についての点検を引き続き実施してまいりたいと考えております。

次に、③の小中学校施設環境の整備と維持でございます。学校の施設も年々老朽化が進んでおります。越谷市に限らず全国的な問題となっておりますが、老朽化に伴う安全性を確保するため、外壁の落下や雨漏り、さらには非常階段の改修など、緊急性の高いものから計画的に整備を進めてまいります。また、アスベストの除去につきましても、引き続き計画的に進めてまいります。

次に、④の教材・教具等の充実でございます。授業で使用する教材はもとより、老朽化した備品の整備を行ってまいります。

次に、⑤の校務主事の業務改善でございます。各学校に1名配置しております校務主事相互の連携を図るため、平成24年度から、グループ編制をいたしまして、定期的に研修や専門技能研修を実施しております。今後もこれらを継続して実施してまいります。

続きまして、別冊3の新規・拡充事業一覧の2ページをご覧くださいと存じます。学校教育部では10の事業があり、学校管理課の事業としましては4つの事業を掲載しておりますが、主なものをご説明申し上げます。

まず、学校教育部 1 番の越ヶ谷小学校屋内運動場増改築事業でございますが、昨年越ヶ谷小学校の屋内運動場などの建物の影響により、建築基準法に定められている範囲を超えた日影を近隣の民地に落としていることがわかりました。そこで、その対応策について調査検討してまいりましたが、現在の屋内運動場を建て替えるため、基本設計と地質調査に要する委託料を要求してまいります。建て替えという方法のほかに、現在の建物を移動させて使用することについても検討いたしましたが、そのためには、今の場所から約 8 メートル校庭のほうに移動しなければならず、校庭が狭くなってしまいます。また、移動に要する費用につきましても 4 億円を超える見込みとなり、建築から約 30 年が経過していることを考慮しますと、新たな設計で建て替えをしてまいりたいと考えております。

次に、2 番の小中学校施設空調設備設置事業でございます。これは、小中学校の普通教室等へのエアコンの整備を行うに当たり、基本的な方針について調査などをするものでございます。具体的には、熱源を電気にするかガスにするかの検討や、市の直接施工方式によるかリース方式にするか、さらには室外機等の設置場所や概算工事費の算出などについて検討するものでございます。

残りの 3 番の仮設教室と 5 番のアスベスト除去事業につきましては、先ほどの説明と重複しますので、割愛させていただきます。

以上でございます。

吉田教育長 学務課長。

野口学務課長 それでは、恐れ入りますが、別冊 2、予算編成の概要の 7 ページをお開きいただきと存じます。学務課の重点施策として 3 つ挙げさせていただきましたので、その 3 点について説明をさせていただきます。

①としまして、教職員等の適正配置でございます。病休等の代替職員、個に応じた指導を充実させるための特別支援教育支援員の配置、さらに外国人児童生徒等に対する日本語指導員の効果的な配置を行ってまいりたいと考えております。特に特別支援教育支援員につきましては、昨年度 42 名、今年度 45 名ということで、3 名程度ずつ増員を図ってまいりましたが、さらに学校からは多くの要望が出ておりますので、来年度の予算につきましても、また増員を図るべく要求してまいりたいと考えております。さらに、日本語指導員につきましても、指導の充実を図るため、予算の増額を要求してまいります。

②就学援助制度の実施でございます。経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品、給食費、さらには修学旅行費等の一部を援助するものでございます。制度の周知と確実な実施により、保護者へ経済的援助が確実にできるように予算要求をしてまいりたいと存じます。

③学校保健の推進でございます。児童生徒並びに教職員の健康診断等の義務づけられた診断等

が確実に実施できますよう、予算の要求をしまいにしたいと考えております。

学務課は、新規・拡充事業についてはございません。

以上でございます。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 それでは、恐れ入りますが、別冊2の予算編成の概要の8ページをお開きください。

指導課では、子どもたちの生きる力を育む教育を目指し、知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成に努めてまいりたいと考えております。特に児童生徒一人ひとりの基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る計画的・継続的指導の充実及びいじめ対策の強化を含む児童生徒の健全育成のためのさらなる生徒指導体制の充実等を図るため、重点施策として1から4の4項目を挙げさせていただきました。

1番として、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の充実と工夫改善の推進、2つ目として、学校教職員自主研究団体への支援の拡充、3つ目として、きめ細やかな生徒指導体制の推進、そして4番目といたしまして、いじめへの未然防止、早期発見、早期対応を図るための施策の拡充とさせていただきます。

それを受けた形で、新規・拡充事業について説明いたします。別冊3の3ページをご覧ください。7番、資質向上を目的とした自主的に研究活動を行う教職員の研究団体がありますが、そちらのほうを助成をしまいにしたいと考えております。今年度は3団体について支援をいたしましたが、来年度はさらに2つ増加予定がありますので、5団体の支援をしていくということで拡充を目指しております。

次に、その下の8番、ネット上の見守り活動をご覧ください。業者委託によるネットパトロールというのを今年度から新規事業としてスタートしたところございますが、来年度は、それに加えて、ご存じのように、ラインによる被害というか加害というか、中傷というか、そういったものが増えておりますので、それらを未然に防ぐために研修会を開きたいと思っています。小中学校に研修講師を派遣し、各学校で教職員向けのまず研修をということで行いたいと思いますので、その分、そのネットモラル研修会業務委託料ということで拡充をさせていただいているところです。

指導課としては以上です。

吉田教育長 教育センター所長。

大西教育センター所長 続きまして、教育センターでございますが、別冊の平成26年度予算編成の概要、別冊2の9ページをお開きください。

教育センターでは、保護者や地域から信頼され、学校と家庭・地域が一体となった質の高い学校教育を推進するため、ICT環境整備事業、教職員の魅力あふれる授業づくりの推進及び組織

的な教育相談活動の充実に加え、中核市における本市独自の研修体制の確立に向けて、重点施策として4項目を挙げさせていただきました。

その中で新規・拡充事業についてご説明いたします。別冊3の3ページをお開きください。4番の教職員研修室整備事業でございますが、中核市移行に伴い、県から移譲される県費負担教職員研修に対応するため、研修室の整備や予約システム導入等を要求させていただきました。

次に、同じく6番の学校系ネットワーク運用事業でございますが、災害時に校庭等で児童生徒の安全確保にかかわる情報収集、発信を行うため、各小中学校と教育委員会事務局の情報通信手段を強化、複線化することを目的としたタブレット管理サーバーの導入を要求させていただきました。

次に、同じく9番の校内系ネットワーク運用事業でございますが、市立病院内に設置されている院内学級のテレビ会議システム等を更新し、より多様な教育素材を保障するために要求をさせていただきました。

最後に、同じく10番の環境教育推進事業でございますが、学校ビオトープの整備の継続に加え、平成24年度から実施しております、生物多様性子ども調査における専門家による学習支援の対象校の拡充を要求させていただきました。

教育センターは以上でございます。

吉田教育長 給食課長。

川村給食課長 恐れ入りますが、別冊2の予算編成の概要10ページをお開きください。

給食課では、安全安心でおいしい給食を提供するとともに、児童生徒が生涯にわたって健康で充実した生活を送ることができる能力を育成するために、学校給食の充実と食育の推進に努めてまいります。

恐れ入りますが、中段の重点施策（2）事業内容をご覧ください。初めに、栄養管理の充実及び食に関する指導の充実でございますが、学校・家庭・地域との連携や共通理解・意識の向上を図るために、学校給食の試食会、調理講習会、学校給食研究協議大会、さらにPTAの学校給食推進研究事業の委嘱等を実施してまいります。また、地場農産物を使用した献立の工夫、遺伝子組み換え食品や食品添加物等を使用しない、安全を考慮した食材の調達、選択給食の推進、アレルギー対応食の提供など学校給食の充実と食育の推進を図ってまいります。

特に平成26年度につきましては、「季節の料理と行事食」をテーマに、四季折々の料理や行事食を献立に取り入れまして、児童生徒の日本の食文化に対する理解を深めてまいりたいと考えております。さらに、「主食」を食育のテーマに、バランスのよい食事について取り上げるなど、食に関する指導の充実に努めてまいります。

次に、給食センター施設の管理でございますが、給食センターにつきましても安全衛生の徹底を図るため、労働環境、衛生作業面等を研究いたしまして、計画的に改善・整備してまいります。

第4次総合振興計画前期基本計画の第2期実施計画の中で施設・設備の計画的改善、整備に努め、学校給食の充実と運営の円滑を図ってまいります。

なお、新規・拡充事業はございません。

以上でございます。

横川教育総務部長 以上をもちまして平成26年度当初予算についての説明とさせていただきます。

ご協議のほどよろしくお願いいたします。

住田委員長 それでは、これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。

進藤委員、お願いします。

進藤委員 学校管理課関連なのですが、小中学校の普通教室等のエアコン設置に関して、現時点ではどの程度エアコンが設置されているのか教えていただけますでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

住田委員長 学校管理課長。

中山学校管理課長 現在共通して設置しております場所は、職員室、事務室、保健室、コンピューター室、図書室、校長室で、これらが全ての学校に共通してエアコンを設置している部屋でございます。また、その他富士中学校につきましては、武蔵野線沿線にございまして、騒音防止のため窓を閉めて授業を行いますので、普通教室に全てエアコンを設置しております。

以上でございます。

進藤委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にいかがですか。

櫻田委員。

櫻田委員長職務代理者 教育センターの中核市移行に向けた教職員研修の体制の整備で質問ですが、県費負担の教職員の研修事業のために増林小学校特別教室を改修しとありますが、研修は増林小学校を改修して行うということでよろしいのでしょうか。

吉田教育長 教育センター所長。

大西教育センター所長 ご質問にお答えします。

実は既存の教育センターがございますが、センターの研修室を主に使おうとは思っております。ただ、研修の回数等、数が非常に多いもので、教育センター内では賄い切れない部分がありますので、その部分を、増林小の一部をお借りして実施しようと考えておるところでございます。

櫻田委員長職務代理者 研修は夏休み中に実施するということですか。それとも児童が学校にいる時期に行う予定なのですか。

吉田教育長 教育センター所長。

大西教育センター所長 主には夏休みを中心で行う予定でございます。

櫻田委員長職務代理者 わかりました。

住田委員長 他にいかがですか。

堀川委員。

堀川委員 別冊 1、15ページ、生涯学習課の116番の埋蔵文化財調査補助業務委託料が増額になっておりますが、これは中村家にかかわるものですか、それとも新規事業にかかわるものですか。

吉田教育長 生涯学習課長。

住田委員長 お願いします。

齊藤生涯学習課長 埋蔵文化財につきましては、西大袋の区画整理事業に伴いまして、現在試掘調査、発掘調査を随時行っているところでございます。それに伴いまして、工事の進捗状況に合わせて進めていたところでございますが、平成26年度はこの事業の発掘、試掘が非常に多く見込めるということから、それを委託の中で整理をさせていただくということで予算要求をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

堀川委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にいかがですか。

進藤委員、お願いします。

進藤委員 別冊 1 の49ページ、給食センターですが、64番、施設改修工事費、これはかなりの多額のお金が増額要求されるようではございますけれども、こちらは特定の給食センターを想定しているのか、それともそれぞれの給食センターがもう老朽化に伴っていろいろがたがきいているので、いろんな給食センターで個々の細かい修繕部分が出てきているのか、いずれなのでしょう。

吉田教育長 給食課長。

川村給食課長 ただいまのご質問ですが、3つの給食センターは非常に老朽化が進んでおりまして、こちらにつきましては、主に第一と第三給食センターの工事ですが、修繕、それがやはり老朽化の対策、さらには空調設備等の新設等も考えておりまして、費用が高額となっているところでございます。

以上でございます。

進藤委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にいかがですか。

それでは、ちょっと私のほうから一言聞かせていただきますが、拡充事業の別冊 3 の資料の右側、3 ページの 7 番の指導課の、認定した自主研究団体の 5 つの団体を支援していくということですが、その団体は、どのような活動をしている団体なのでしょう。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 先ほどの説明の中で、今年度 3 つ、そして来年度新たに 2 つということで説明さ

せていただきましたけれども、今年度はＩＣＴ活用、それから英語・外国語活動、それから体育、この３つについてスタートを切りました。この３つは、来年度も引き続きやっていただくということと、あわせてさらに算数・数学の研究、それと理科の研究、この２つを新たに支援していくつもりで今考えております。

以上です。

住田委員長 いかがですか。よろしいでしょうか。

他になれば、いただきましたご意見を踏まえてお進めいただきたいと思います。

◎その他

住田委員長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

平成25年12月定例市議会について、教育長の報告を求めます。

吉田教育長 学校教育部長。

会田学校教育部長 それでは、12月定例市議会の概要につきましてご報告させていただきます。恐れ入りますが、会議要項の１ページ及び２ページをご覧くださいと存じます。

まず、会期日程でございますが、12月２日から12月18日までの17日間にわたりまして12月定例市議会が開催されたところでございます。

続きまして、３ページをご覧ください。教育委員会に関する議案につきましては、越谷市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、財産の取得について（学校給食用厨房機器）、調停申立事件に関し和解することについて、指定管理者の指定について（越谷市民プール）及び平成25年度越谷市一般会計補正予算（第５号）についての５件が上程され、それぞれ原案のとおり可決されたところでございます。

なお、第111号議案につきましては、平成25年12月23日をもって任期満了となります堀川委員が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第１項の規定により、教育委員会委員としての再任の任命に議会の同意をいただいたものでございます。

次に、教育委員会関係の一般質問でございますが、会期日程にありますように、12月５日、６日、９日及び10日の４日間にわたりまして、市政に対する一般質問がございました。教育委員会関連の質問につきましては、会議要項の３ページ及び４ページのとおり、９人の議員からそれぞれの立場でご質問がございました。

また、教育・環境経済常任委員会における質問事項等は、会議要項の５ページのとおりでございます。

質問内容等の詳細につきましては、大変恐縮でございますが、会議要項をご参照いただき、ご了承賜りたいと存じます。

ご報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告に対しまして、ご質問等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですが、よろしいですか。

この件につきましては以上といたします。

続きまして、平成25年度事務事業評価等実施結果について、教育長のご報告を求めます。

吉田教育長 教育総務課長。

鈴木教育総務課長 それでは、平成25年度事務事業評価等実施結果につきましてご説明いたします。

初めに、事務事業評価の趣旨でございますが、行政運営の中にPDCAマネジメントサイクルを構築することによって、限られた財源や人材等の適正配分を図り、計画に位置づけられた施策を総合的・計画的・効果的に推進していくことを目的に、試行の後、平成17年度から毎年度実施されているものでございます。

従来は、教育委員会の事務に関する点検評価報告書の協議の際にあわせて報告させていただいておりましたが、昨年度から教育行政重点施策の評価に当たり、教育委員会独自の教育外部評価を実施するなど、点検評価の内容の充実を図りましたことから、事務事業評価等の実施結果につきましては、分離してご報告をさせていただいております。

それでは、恐れ入りますが、別冊4、平成25年度事務事業評価等実施結果の1ページをご覧ください。今年度につきましては、中段やや下の（3）評価対象事業の欄に記載されておりますとおり、評価対象事業の選定基準に基づき、教育委員会所管の対象事業として107事業が選定され、そのうち3事業が外部評価の対象となっております。

次に、4ページをご覧ください。これは、教育委員会所管の107の対象事業の評価結果を取りまとめたものでございます。まず、内部評価結果につきましては、2、実施結果の（1）総合評価の表にございますとおり、107事業のうちA評価が32事業、B評価が75事業となるという結果となり、C及びD評価はありませんでした。

次に、外部評価の対象となった3事業の評価結果につきましては、内部評価は全てB評価でありましたが、外部評価では2事業がB評価、1事業がC評価という結果となりました。外部評価でC評価となった事業は、下段の（4）内部評価と外部評価の異なる事業にございますとおり、日本文化伝承の館運営事業でございます。

外部評価結果の詳しい内容につきましては、次の5ページから7ページにそれぞれの事業について掲載してございますので、後ほどご参照いただきたいと存じます。

また、10ページ以降には、教育委員会の所管事業を抜粋した外部評価を含む事務事業評価等実施結果一覧表がございます。こちらの内容につきましても、大変恐れ入りますが、後ほどご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

平成25年度事務事業評価等実施結果についてのご報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまの報告に対しまして、ご質問等ございますでしょうか。

櫻田委員長職務代理者 日本文化伝承の館運営事業で外部評価Cとなってしまったわけですが、有効性・成果指標のところ、「現状50%台であり」と書いてあります。その下のほうに、「市内外にPRすることが必要である」とありますが、とても能楽堂は本格的な施設で、近隣でこれだけのものを持っているところは少ないと思いますけれども、市外の方の利用というのは現時点であるのでしょうか。

吉田教育長 生涯学習課長。

斉藤生涯学習課長 市外の方のご利用もございますが、市内能楽関係団体の方のご利用が多いこともあり、市内の方のご利用が過半数を占めている状況でございます。

能楽堂は、和室の間続きで1部屋ずつの稼働率が低くなっています。ふすまで区切られており、どうしても隣室の音が入るなど使い勝手が難しいこともあります。今後も稼働率が上がるよう、PR等をしていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

住田委員長 余計なことなのですが、ただいまの質問の中身の継続なのですが、やはりこちらの別冊4の5ページの上のほうに書いてあるのです。能楽以外にも利用できることなどの一層のPRというのですけれども、ほかに適当なものという、何か考えられるものは、どういったようなことを今考えておられるのでしょうか。

吉田教育長 生涯学習課長。

斉藤生涯学習課長 現在も能楽以外のご利用もいただいております。例えば様々なサークルの活動の場としてもご利用いただいておりますし、和室の特性を生かして子育ての関係の団体等にもご利用いただいております。

能楽堂開館当時は、能をはじめとする伝統文化関係の利用というある程度の限定があったようでございますが、現在は様々な活動をしている団体等の方々にご利用いただいているところでございます。

以上でございます。

住田委員長 どうもありがとうございました。

他に。

櫻田委員長職務代理者 先程の続きですが、中学校のサークル、部活動でご利用されていて、中学生のお琴を弾いたりという利用はとても有効的な利用だと思いますが、普通の小中学校の児童・生徒は、おそらく1回行ったことがある程度だと思います。活動機会を少し増やしたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

住田委員長 お願いします。

五十畑指導課長 今能楽堂を使った日本文化伝承の集いをやっていますが、中学校は15校参加していただきまして、小学校も3校参加していただいています。今後、参加校を増やしたい気持ちは十分ありますが、引率等の関係等もありますので、総合的に判断して、急激な増加は少し難しいかなと考えておりますが、各学校と社会科の見学とか、そういったもので何か活動できないかなとは考えているところです。

以上です。

櫻田委員長職務代理者 よろしく願いいたします。

吉田教育長 私のほうから少し補足ですけれども、ここの別冊4の3ページを見ていただくと、外部評価者の名前が書かれていますが、その備考の欄を見ていただきますと、公認会計士であるとか、あるいは産業政策、行政経営、行政評価等に専門を持たれる方が多く評価委員としてなられているということで、若干経営効率に重きを置いた評価がなされる傾向にあるかなと。これにより文化性ということでしょうか、そういった部分での評価が若干低いかなというところは、ちょっと残念なところでもあるのですが、いずれにしても具体的な内容のところにも書かれているとおり、PRであるとか、あるいは能楽以外の利用方法についても、今後さらに検討を加えていく必要があるというふうに考えているところです。先ほどあった小学校への普及については、子ども能楽劇場を6年生を対象に、専門の、本当にプロの能楽師の方に、生でそれを見てもらう機会も設定しておりますし、さらに小学校のクラブ活動でも、去年、今年とかな、3校で実際に能楽の指導をしていただくような機会も得られて、今後少しずつそういった部分では広めていけるかなというようにも考えているところでございます。日本文化伝承の集い、これについても、その3校についてはまだ入っていないのですが、今後参加される可能性もあるというふうに聞いています。

いいですか、そういうことで、指導課長。

住田委員長 指導課長。

五十畑指導課長 新たな開拓ということで、日本文化伝承の集いに参加できるような小学校にまず働きかけということで、講師の方を派遣して、クラブ活動を充実させて、発表できるような形になりましたら、参加を要請していくということで働きかけていきたいと思います。

以上です。

吉田教育長 教育委員会は1つということで、生涯学習課の事業ではございますが、学校教育のほうでも側面から応援をして、こういう普及、発展にここをつなげていこうというふうに考えておりますので、ご理解を賜りたいと。

住田委員長 ますます日本文化の伝承ということで頑張っていただきたいなと、こういうふうに思います。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、この件については以上といたします。

続きまして、平成25年度越谷市成人式について、教育長のご報告を求めます。

吉田教育長 生涯学習課長。

斉藤生涯学習課長 それでは、会議要項の7ページをご覧くださいと存じます。

先日の教育委員会会議で成人式の概要についてご説明を申し上げ、また委員の皆様のご出席会場についてご協議いただいたところでございます。本日の教育委員会会議におきましては、議長及び議長代理の各議員の出席地区が決まりましたので、改めてご説明をさせていただきます。

金井議長につきましては、1番の桜井地区におきまして祝辞をいただく予定となっております。その他の地区につきましては、日程表のとおり、各議員の皆様に議長代理としてご出席いただく予定でございます。

なお、成人式の案内通知につきましては、既に12月4日に発送をさせていただきました。11月1日現在の対象者は、男性1,622人、女性1,562人で合計3,184人となっております。

また、成人式当日の式辞につきましては、後ほど会議終了後にお渡しさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。あわせまして、式辞代読の冒頭の挨拶も添えさせていただきますので、あわせてよろしくお願いいたします。

最後となりましたが、成人式出席の服装につきましては、略礼服にてご出席を賜りたいと存じます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

住田委員長 ただいまのご報告に対しまして、何かご質問等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、この件については以上といたします。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、以上といたします。

それでは、続きまして次会の教育委員会会議でございますが、平成26年度教育行政方針の原案について協議を行う必要があるため、臨時会を開催したいと存じます。臨時会及び定例会の日程でございますが、いかがいたしましょうか。

〔「委員長に一任」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、次回の教育委員会会議は、臨時教育委員会会議として1月9日木曜日午後3時半から、教育委員会室で、この場所で開催したいと存じます。

なお、当日は、臨時教育委員会会議の前に、午後2時から市長との懇談会を予定しております

ので、よろしくお願いいたします。

また、定例教育委員会会議につきましては、1月の23日木曜日午前10時から教育委員会室で開催したいと存じます。よろしゅうございますでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

◎閉会の宣告

住田委員長 以上をもちまして、本定例会に提出されました協議事項等全て終了いたしました。

それでは、これをもちまして閉会といたします。どうもありがとうございました。

(午後 3時10分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

平成25年12月19日

委員長

佐田 俊

委員

櫻井 玲子

委員

堀川 智子

委員

進藤 秀子

委員

吉田 茂

(教育長)

書記

教育総務課副主幹

渋谷 博之